

高校生バイオサミット in 鶴岡

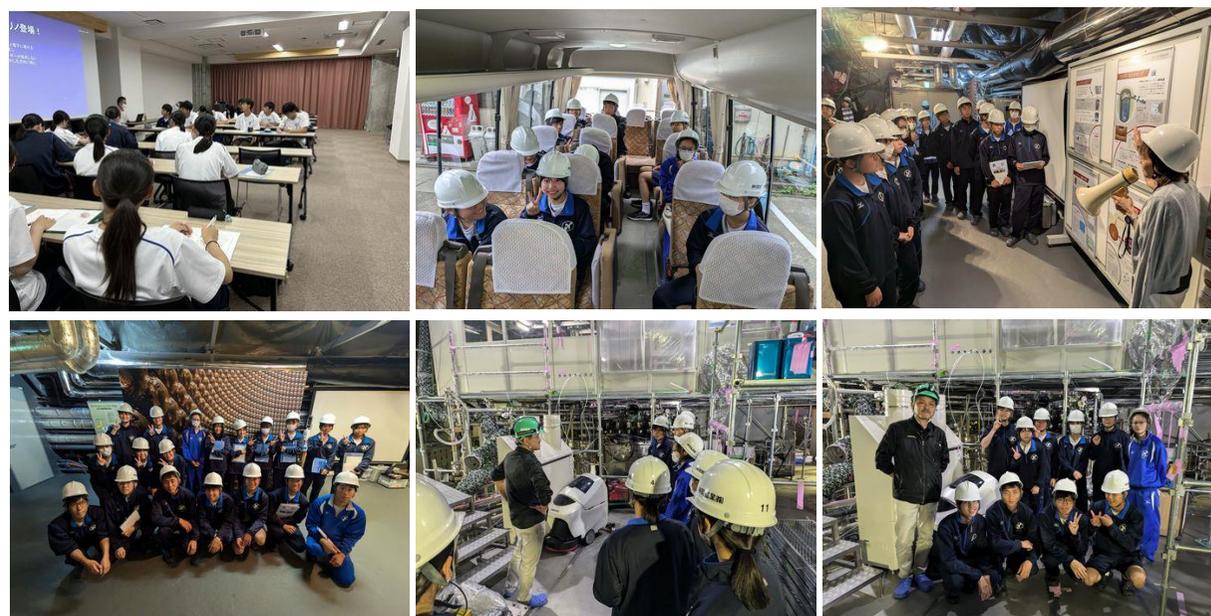
8月21日(水)~23日(金)にかけて第14回高校生バイオサミット in 鶴岡が山形県鶴岡市の鶴岡メタボロームキャンパスレクチャーホール（正式名称：鶴岡市先端研究産業支援センター）で、決勝進出者たちが一堂に会し行われました。全国から集まった生徒たちが、それぞれ素晴らしい研究を発表しました。その中で、本校26Hの竹澤さん、延田さん、山口色葉さんたちの研究『環境 DNA による能登地域の河川の魚類相調査』が、計画発表部門で優秀賞を受賞しました。他の参加者との交流もあり、充実した3日間でした。計画発表部門で代表発表者の延田さんが、個人対象の審査員特別賞を受賞しました。審査員特別賞は5年連続の受賞でした。

また、成果発表部門で36Hの柴さん、中山絢乃さん、松原さん、村山さんたちの研究『ドジョウ飼育水における 様々な温度での環境 DNA 量の経時的変化』、36Hの奥野さん、垣内さん、林さん、増野さんたちの研究『ブタナの傾性運動に影響する環境要因』は、他校の生徒や審査の先生方から好評でしたが、受賞にはいたりませんでした。



先端科学実験施設研修

8月23日(金)、岐阜県飛騨市にある、スーパーカミオカンデ（東京大学）・カムランド（東北大学）を見学する先端科学実験施設研修を行いました。参加者は1年生の普通科・理数科の希望者19名です。これらの施設は、個人では見学はできず、SSHに指定されている高校など、限られた人のみ見学ができる貴重な施設です。生徒は研究者の方に質問をするなど、積極的な姿勢で研修に臨んでいました。



感想

- カミオカンデは純粋な水に反応したニュートリノの光を観測する施設だとわかりました。スーパーカミオカンデ、カムランドがある地下はもともと鉱石の採掘のために掘られたもので、そこに研究施設を作ったというのが意外でした。
- 施設を見学するまで、原子よりも小さい素粒子というものも存在することも知らず、今まで持っていた概念が大きく変わりました。地層を掘り進めてつくった実験装置を生で見るといっても貴重な経験ができました。
- 宇宙の秘密はたくさんあるけれど、ニュートリノを知ることによってわかることが増えるかもしれないというのが興味深く感じました。
- ニュートリノを研究することで、物質の起源を知ることができる。ビックバンや太陽など、まるで手が届かなかった謎へと着実に近づいている。そう思うと、とてもわくわくしました。
- 謎が多いニュートリノについてもっと詳しく知りたいと思った。